



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として地球環境保全の取り組み～

環境大臣 伊藤信太郎 殿

令和6年4月10日
株式会社メルカリ

山田 進太郎

株式会社メルカリは「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる」ことをグループミッションに掲げています。事業を通じて環境や社会に貢献する「プラネット・ポジティブ」を追求することで、あらゆる価値がなめらかに循環する社会の実現を目指しています。

1 限りある資源が大切に使われる循環型社会の実現を目指します。

- ・メルカリは、事業を通じてリユースを推進し「捨てる」をへらすことで、限りある資源が大切に使われる循環型社会の実現に貢献します。
- ・自治体の大きな課題となっているごみの減量を図るため、全国の自治体と連携し、ごみの減量とリユースを推進していきます。

2 脱炭素社会の構築を目指し、以下の取組を推進します。

- ・メルカリグループの企業活動に伴う温室効果ガス排出量 (Scope1+2) を、再エネ導入等を通じて2030年度までに100%削減します。
- ・SBT準拠のScope3排出量削減目標を設定し、サプライチェーン全体で排出量の削減に取り組みます。
- ・TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures) に賛同し、適切な情報開示を行います。
- ・事業所においても、資源循環を自分事として捉え、自らの行動変革につなげることができるような社内啓発活動を実践していきます。事業所の家具等には地球環境に配慮した再生素材やリユース素材を活用したり、来客用の飲料容器をアルミ缶にするなど、社員の身近にあるものから取り組める施策を実施します。
- ・子会社の鹿島アントラーズFCでは、水平リサイクルボックスの設置、資源回収施設の常設や、海の環境に配慮した製品の採用等を通じて、CO2排出量の削減と持続可能な社会の実現を目指します。

3 循環型社会の実現に向けた文化の醸成・教育を推進し、持続可能な社会の創り手の育成を目指します。

- ・モノとお金の価値を学び、循環型社会を生きるために必要な知識や考え方を習得するためのメルカリ独自の教育プログラムを提供することで、持続可能な社会とその担い手の育成に貢献します。
- ・「メルカリ教室」を、全国の拠点や、地方自治体と連携して実施することで、循環型社会の実現に向けた文化の醸成を推進していきます。
- ・官民、自治体、学術機関と連携しながら、循環型社会実現に向けた理解促進を図るためのさまざまな取り組みを実施していきます。
- ・社員に対しても定期的にSDGsやESGの理解促進プログラムを提供することで、社会貢献へのさらなる意識醸成を行います。また子会社の鹿島アントラーズFCでは、定期的な海洋清掃活動等を通じて、地域に貢献してまいります。

株式会社メルカリは、上記取り組みの進捗状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及び公表を行ってまいります。

mercari